

令和元年度 第1回 社会教育委員会 会議録

日 時 令和元年5月27日（月）
午後1時30分から午後3時40分

場 所 豊明市役所 東館1階 会議室6

出席者 橋本委員、緒方委員、青木委員、奥村委員、近藤委員、堀川委員、
服部委員、岸委員

欠席者 弐委員

事務局 教育長、教育部長、生涯学習課長、図書館長、生涯学習課長補佐、
生涯学習担当係長

傍聴人 なし

- 1 委嘱状交付
- 2 委員自己紹介
- 3 議題

(1) 平成30年度事業報告について

生涯学習・青少年事業については、生涯学習担当係長が説明。

文化財事業、体育館事業、文化会館事業については、生涯学習課長補佐が説明。

図書館事業については、図書館長が説明。

質疑等

委員

放課後子ども教室と児童クラブとの兼ね合いはどうなっていますか。お互いに連携はとれていますか。大宮小学校は、放課後子ども教室はないのですか。

事務局

放課後こども教室は一体型で運営するのが基本としています。学校の余裕教室で実施しておりまして、余裕教室がある学校は一体型で実施しております。余裕教室がない学校は、別々で実施しておりますが、両方のスタッフが集まる会議をしたり連携を取っております。大宮小学校は今年度開講を予定しております。

委員

南部公民館は前後駅前と立地が良いのに、利用実績がともなっていないように感じます。もう少し有効活用できないでしょうか。

委員

市民大学ひまわりの会場として利用することがありますが、駐車料金がかかるので利用者から嫌がられてしまいます。他市では駐車料金を払うのは当たり前ですが、豊明市民はなかなか駐車料金を払うことをためられるように思います。

事務局

南部公民館の立地は非常に良いと思います。その利便性から、公民館とは違う役割ですが、市役所出張所や期日前投票所等での利用もされております。駐車場の問題は継続的な問題であります。3月に実施した公民館まつりの際には、碧海信用金庫さんから駐車場をお借りすることができました。限定的ではありますが、こういう民間の駐車場をお借りする等の工夫も検討していきたいと思っております。

委員

勅使会館のデイキャンプ場の利用者が減少している。巷では、キャンプが流行っているようですが、減少している理由は何でしょうか。

事務局

指定管理者と四半期ごとに実績についてのモニタリングをおこなっており、その際に減少理由を確認したところ、昨年の夏の猛暑が影響したとのことでした。暑すぎるためキャンセルが相次いだ。それだけではないですが、猛暑が大きな要因と思われまます。

委員

昔は二村山のキャンプ場を利用して、子供会等でキャンプを多くしていた。最近の子どもは学校や地域でキャンプをする機会が減っている。二村山の代わりに、勅使会館のデイキャンプ場の利用を促していきましょう。

事務局

文化広場を知ってもらうために、指定管理者に書道教室やスマホ教室を企画していただいております。ぜひそういう教室で施設を利用いただき、文化広場を知っていただき、デイキャンプ場を含め文化広場の利用に繋がる仕組みづくりをしていきたいと考えております。

委員

歴史民俗資料室について。唐竹小学校が再来年統合される関係もあり、ぜひ常設の資料室にならないでしょうか。

事務局

唐竹小学校の跡施設利用については、現在検討中であります。検討の中で、歴史民族資料室の開放日数を増やすことも一案として検討していきたいと思っております。

委員

歴時民俗資料室は現在第1日曜日に開室している。5月の開室日に行ってみたが、自然に焦点を当てたワークショップもあり、参加している子どもたちは楽しそうでした。図書館の展示もとても良い展示でした。こういったような良い企画をたくさんやっているが、知らない市民が多い。市民へのPRをもっと積極的にしてみたいか。

先日、5月16日に「平成31年度愛知県社会教育委員連絡協議会東尾張支部総会・講演会」が北名古屋市でおこなわれ、委員数名と参加しました。北名古屋市歴史民族資料館長による講演会『地域づくりにおける「ミュージアムのチカラ」—昭和日常博物館の試み—』は、とても興味深かったです。北名古屋市の資料館は全国に向けた貸出キットを作り、全国に発信していらっしゃいます。

豊明市も、各小学校にある古いものや各家庭にある古いものを集め、唐竹小学校跡施設に「ミュージアム」のようなものを作ってはどうでしょうか。高齢者への回想法の拠点になるかと思っております。

事務局

この件については、文化財保護委員でも議論いただいております。いろんな要望もいただいているのですが、唐竹小学校の跡施設利用については、児童発達支援セ

ンターや保育所を持ってくる案など、全市的な集約型施設になる案が出ております。学校1校減らしたときに、壊してしまえばそのあとの維持管理費はかかってこないのですが、残すということは市内にある他の施設をなくして集約させなければ、コストが膨らむだけとなります。なので、歴史民俗資料室のスペースをこれだけほしいと要望はしてきておりますが、博物館を作れるほどの場所を取るとは難しいと思われれます。今のところ南館1階のスペースを全部資料室にという案は出ております。できるだけ人が集まるような資料室にしていきたいと考えております。

また跡施設の職員室では、市民大学ひまわりや国際交流協会等のNPOが事務所シェアをする案があります。市民大学ひまわりやその他の講座等も活発に行われれば、より多くの人に施設を利用していただき、歴史民俗資料室を知っていただき、利用していただけるようになるのではと考えています。

もう少し案が具体的になるまでお待ちください。

委員

文化会館自主事業の参加人数が少ないように感じます。若者は名古屋や東京に観に行く。シニア世代にターゲットを絞ってはどうか。また、収益があがるような事業が企画できないでしょうか。

事務局

文化事業は指定管理者制度を導入しているが、収益があがるよう、事業内容や開催時期、PRの仕方等、考えていく必要があります、今後の大きな課題として検討していきます。

委員

事業それぞれを実施するにあたって、市として柱となるものはあるのですか。その柱を基に事業を企画しているのでしょうか。例えば公民館講座だと、何か課題を持ち、講座を企画しているのでしょうか。

事務局

公民館講座については、幅広く市民の方に参加していただけるよう、参加しやすいハードルを下げた講座設定をしています。また、現代的な課題については「す

ぐに使える」講座設定をするようにしています。公民館運営審議会で諮っていたきながら、より良い公民館講座を実施していきたいと思います。

委員

社会教育、生涯教育という観点から大人が学ぶ姿勢を見せることが、子どもへの教育に繋がると思います。地域の活動も親世代（30代や40代）がなかなか出てこない。そうすると、その子どもたちももちろん出てこない。社会教育、生涯教育の推進はそういった点から見ても重要だと思います。

委員

図書館の貸し出し状況で、栄分室や南部公民館の冊数が年々減少しています。原因は一概には言えないと思うが、本館が増えているので、本館に流れてきているのではないのでしょうか。データベース化等、どこの館でも使いやすい図書館への工夫をしていく必要が将来的にあるのではないのでしょうか。

事務局

予約をかける際、受取場所を選ぶことはできます。今後も利用しやすい図書館を目指し、工夫していきます。